

# 長崎の会社で働いてよかったです!

長崎市域の製造業を中心につくる長崎工業会(80社、梶原正雄会長)は、業種・業態の枠を越えてビジネスチャンスの創出をはじめ、人材確保・育成などに力を入れています。今回は、会員事業所で活躍している若手社員に仕事内容や、やりがいを聞きました。長崎には魅力的な企業がたくさんあります。皆さんも地元就職しませんか?

## 顧客と生産現場を橋渡し



株式会社 吉本ハイテック =長崎市=  
神ノ島工場営業課  
富永 拓也さん 28歳 勤続6年目  
長崎鶴洋高、長崎高等技術専門校卒



### 現在の仕事

当社は造船業を中心に鋼構造物の製造や機械加工、塗装など幅広い仕事を手がけています。私は営業・製造管理部門で取引先の開拓や見積作成といった受注全般のほか、受注品の生産に伴う資材発注や工程管理する仕事を担っています。いわば、顧客と生産現場との橋渡し役です。首都圏を含め県外への出張も経験でき、日々の仕事にやりがいを感じています。

### 就活時の体験談

ものづくりの現場に携わりたくて、高校卒業後に長崎高等技術専門校で、機械加工・制御の知識、技能を学びました。いったんは県内の製造業に就職し、工場でオペレーターを経験。現場作業より営業・管理に興味が沸き、今の会社に転職しました。会社でもいろいろな仕事や部署がありますので就活時に「この仕事がしたい」と正直に思いを伝えることも大切です。

### 地元で働いてみて

県外で働きたいという気持ちもありましたが、家族や友人が身近にいる地元就職を選びました。自分の事を知っている人たちが周りにいるので、心地良さと安心感があります。長崎駅周辺には新しい商業施設も増え、買い物の際も不便を感じたことはありません。

### ある日のスケジュール



## 安全な海上輸送に達成感



崎永海運 株式会社 =長崎市=  
十八住福丸 機関長  
眞鳥 潤太さん 24歳 勤続4年目  
佐世保市立相浦中卒



### 現在の仕事

当社のメイン事業は貨物の海上輸送です。私は主に大型船の部品を引いて運ぶ「十八住福丸」の機関長を務めています。機関長は船のエンジンなどの各種機器を点検、整備する管理責任者。航海中は昼夜問わず数時間おきにチェックします。機関長の資格は船乗りになって7年目の2021年に取りました。無事に貨物を運び終えるたび、達成感があります。

### 就活時の体験談

祖父がこの「十八住福丸」の元船長で、幼いころから「じいちゃんに教わって一人前になりたい」と憧っていました。現船長の叔父たちも当時から乗組んでいて、身近に経験豊富な先輩がいる安心感があり、15歳で十八住福丸の船員になりました。それから祖父が引退するまでの5年間は一緒に働けて、今の成長につながる経験を積ませてもらいました。

### 地元で働いてみて

仕事では県内だけでなく全国各地へ行けます。航海中はほぼ海上での生活ですが、空き時間に釣りをするなど、船乗りならではの楽しみも満喫しています。母港が長崎港なので、休日は佐世保市の自宅に帰りやすいのがいいところ。祖父と船の話で盛り上がります。

### ある日のスケジュール



## インフラ設計で地域貢献



協和機電工業株式会社 =長崎市=  
水処理システム本部 プラント工事1部門 施工技術グループ  
寺田 純祐さん 26歳 勤続3年目  
長崎北高、大分大理学部卒



### 現在の仕事

浄水場や下水道などの増設工事、更新工事などの設計を担当し、機器選定や発注、配管ルート設計、機器試運転を行っています。図面や書類作成だけでなく、現場調査を行ったり、客先に出向いて書類提出、懸念事項について協議。月に1~2回は県外への出張もあります。分からないこともありますが、先輩にアドバイスをいただきながら、業務に励んでいます。

### 就活時の体験談

就活時に大切にしていたことは、これだけは譲れないという軸を一つ決めていたことです。給与や、福利厚生など就活をする上で大切なことは人それぞれ違うと思いますが、私が大事にしていたことは、「地元に貢献している企業」に就職することでした。うまく絞ることができない時は、複数の企業を調べていくうちに、自分が本当にやりたいことが見えてきます。

### 地元で働いてみて

県内の浄水場、下水処理場などに携わることで、ふるさとのインフラ整備に貢献できることは、何物にも替え難いやりがいにつながっています。休日は近くに住む家族に話を聞いてもらったり、友人とスポーツで汗を流したりして、リフレッシュできるのも地元の良さです。

### ある日のスケジュール

